

【高等学校用】
令和5年度学校評価計画

学校名	佐賀県立伊万里実業高等学校(商C)[定時制]		
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が「OneTeam」となり学校教育目標の実現に組織的に取り組み、専門高校の特徴を活かした活動等を行い地域から必要とされる学校を目指す。 ・魅力ある学校づくりと地域への情報発信に重点をおいて取り組んできた。これからも地域に根ざした学校づくりを行い「生徒が行きたい」、「保護者が行かせたい」、「地域から必要とされる」そして「職員が勤務したい学校」を創っていく。 ・ICT利活用教育を推進し、わかる授業の徹底と専門高校としての教育内容の充実を図る。 		
2 学校教育目標	心身ともに健康で逞しく、「至誠」と「礼節」を重んじ、専門的知識・技術を生かし社会に貢献し愛される人材を育成する。		
3 本年度の重点目標	<p>”Dynamic Challenge” をスローガンとして、心身ともに健全な人材の育成に努めるとともに学習意欲を高めさせ、地域に貢献し愛される生徒の育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心身ともに健康な生徒と安全安心な学校づくり ○学習意欲を高め、確かな学力習得(修得)と進路実現を図る ○Society5.0や6次産業化などの次世代を見据え、地域に貢献できる人材の育成を図る 		
4 重点取組内容・成果指標			
(1) 共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着 ○専門教科指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力テストで50%以上正答した生徒が80%以上 ○出席率95%以上 ○少人数授業のメリットを生かした個別指導の機会を増やす ○各種検定試験の合格率90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業実施率95%以上 ・基礎的な内容に時間をかけ、配慮の必要な生徒への声かけを積極的に行う ・授業ごとに習熟度を確認し、チームティーチングを活用した指導を行う ・単元ごとに小テスト等を行い、理解度を確認させる
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎★ふるさと佐賀(伊万里)への思いを醸成するための教育活動 ○生徒主体で生徒会活動に関する行事の運営をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○講演を受けて「ためになった」という趣旨の文言が90%以上 ○「いじめの問題に関する点検項目」に対し、95%以上の職員が全て「おおむねできている」「できている」の回答 ◎「佐賀県(伊万里)に誇りや愛着を感じる」と回答した生徒が75%以上 ★郷土の人材を活用した講演会等を年間1回以上 ○生徒会役員で全校体育やクリスマス会等の行事を運営させ、役員満足度80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和教育、情報モラル教育の講演会の実施 ・HRや授業の様々な場面で生命の尊さ、他者への思いやりの大切さを話す ・「いじめアンケート」を隔月実施、「生活アンケート」を前後期各1回実施 ・生徒に関する情報交換・協議会を毎月実施 ・「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む ・郷土の人材を活用した講演会を実施する ・全校体育やクリスマス会を実施する ・定時制・通信制体育大会の練習で人数が不足している競技については、教職員も共に練習に参加し士気を高める
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ○健康管理能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上 ○給食の喫食率80%以上 ○食事前やトイレ後の手洗いの実践率90%以上 ○検診結果で治療を要する生徒の治療受診率80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・喫食調査を毎日実施し、生徒の健康状態を併せて把握する ・食生活に関する面談を実施する ・「給食だより」を毎月発行する ・食育アンケートを実施(9月)し、結果をもとに講話を行う(1月) ・登校時に検温、健康観察を行い、日々の健康状態を把握する ・「保健だより」で健康についての情報を提供する
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	<ul style="list-style-type: none"> ・学校閉庁日の設定 ・出退勤管理システムや定期的な面談等による日常チェック ・ペーパーレス化の推進
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○自己実現の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導の充実 ○キャリア教育の充実 ○希望進路の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ○在校生の就業率を80%以上をめざす ○卒業予定者の進路決定率を100%にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト等の就労体験を通し社会性を身に付け、進路意識を高める ・日頃の教育活動を通して進路意識の啓発を行う ・全日制およびハローワークと連携し進路情報を生徒に提供する
★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒及び教職員の割合	<ul style="list-style-type: none"> ★定時制ホームページによる情報発信の充実 ★授業改善による教員の資質向上 	<ul style="list-style-type: none"> ★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合78%以上、教職員の割合85%以上とする 	<ul style="list-style-type: none"> ★最低週1回はホームページを更新する ★生徒による授業評価3.4以上(4段階)
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり			
5 総合評価・ 次年度への展望			